令和2年第4回定例会

環境水道委員会資料

上下水道局

<条例案件>

- (1) 議第266号 熊本市水道条例の一部改正について ..... P 1

<所管事務報告>

- (1) 熊本市経済再建・市民生活安心プランの策定について
- 熊本市経済再建・市民生活安心プラン 本冊 資料1-1
- 熊本市経済再建・市民生活安心プランの策定について 資料1-2
- (2) 土壌汚染対策法に基づく届け出について 資料2

熊本市水道条例の一部改正について

1 背景

給水装置の新設等の申込みについては、私有地・私道の掘削や給水管理設の場合、利害関係人の同意書等の提出を義務付けている。

近年、登記簿などの公簿情報を参照しても所有者が直ちに判明しない、又は判明しても所有者に連絡がつかない土地、いわゆる「所有者不明土地」が全国的に増加しており、同意書の提出が困難又は時間を要し、申請人の負担が増加している。

また、申請人の負担軽減を図るため、同意書提出の緩和を求める意見が上っている。

2 改正の概要

給水装置の新設等の申込みについて、これまで土地や家屋に係るすべての利害関係人から同意書の提出を求めていたものを、水圧低下を招くおそれがある場合などの技術的な要素を含む工事等、必要と認めるときに限るもの。

3 施行日 令和3年1月1日

熊本市水道条例（昭和33年条例第37号）新旧対照表

改正後（案）	改正前
（給水装置の新設等の申込み） 第10条 給水装置の新設、改造、修繕（水道法（昭和32年法律第177号。以下「法」という。）第16条の2第3項の厚生労働省令で定める給水装置の軽微な変更を除く。）又は撤去をしようとする者は、あらかじめ管理者に申し込み、その承認を受けなければならない。 <u>2 前項に規定する申込みがあった場合において、管理者が必要と認めるときは、当該申込みをする者（以下「工事申込者」という。）に対し、利害関係人の同意書又はこれに代わる書類の提出を求めることができる。</u>	（給水装置の新設等の申込み） 第10条 給水装置の新設、改造、修繕（水道法（昭和32年法律第177号。以下「法」という。）第16条の2第3項の厚生労働省令で定める給水装置の軽微な変更を除く。）又は撤去をしようとする者は、あらかじめ管理者に申し込み、その承認を受けなければならない。 <u>2 前項の場合において、利害関係人があるときは、同項の規定による申込みをする者（以下「工事申込者」という。）は、当該利害関係人の同意書又はこれに相当するものを添えて、当該申込みを行わなければならない。</u>

熊本市水道条例の一部改正について

熊本市水道条例の一部を次のように改正する。

熊本市長 大 西 一 史

熊本市水道条例の一部を改正する条例

熊本市水道条例（昭和 33 年条例第 37 号）の一部を次のように改正する。

第 10 条第 2 項を次のように改める。

- 2 前項に規定する申込みがあった場合において、管理者が必要と認めるときは、当該申込みをする者（以下「工事申込者」という。）に対し、利害関係人の同意書又はこれに代わる書類の提出を求めることができる。

附 則

- 1 この条例は、令和 3 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この条例による改正後の熊本市水道条例（以下「新条例」という。）の規定は、この条例の施行の日以後に行われる新条例第 10 条第 1 項の規定による申込みについて適用し、同日前に行われた同項の規定による申込みについては、なお従前の例による。

（提出理由）

給水装置の新設等の申込みに添えなければならない利害関係人の同意書等について見直しを行うため、所要の改正を行う必要がある。

これが、この条例案を提出する理由である。